

令和3年度事業報告

I. 事業概要

新型コロナウイルス感染症の脅威が令和2年度中の収束が見られず、引き続きコロナ禍で迎えた令和3年度も、愛知県の「まん延防止等重点措置」が4月20日から適用され、3回目の「緊急事態宣言」が5月12日から適用された後、東京オリンピックが7月23日から8月8日まで、東京パラリンピックが8月24日から9月5日までの間、1年延期された2020競技大会が異例の無観客で開催され、悲喜こもごもの1年でありました。

愛西市シルバー人材センターにあっても、新型コロナウイルス感染症については、令和2年度から継続して更に影響を大きく受け、公共施設・民間事業所の利用抑制等により、請負・派遣業務の受注・勤務が抑えられたものの、各個人宅からの申し込みは、ほぼ従来通りあり、請負事業の就業件数は3,410件(対前年比133件・3.8%減)、配分金は1億2,836万円(対前年比118万円・0.9%減)で、労働者派遣事業の就業延人員は1,096人日(対前年比57人日・4.9%減)、契約金額は584万円(対前年比20万円・3.3%減)となりました。

当センターの各種事業も、密を避けるため愛知県シルバー人材センター連合会のオンライン研修・会議による会場出席をしなかったものが多くありましたが、6月18日に開催した令和3年度定時総会を委任状・議決権行使書の書面議決を重視して会員の参加をご遠慮いただき、新型コロナウイルス感染症対策を施した役員のみでの少数開催したことを始め、中止せざるを得なかった事業も多くあり、年度当初の計画どおりに執行できなかったことは残念でありました。

会員及びそのご家族に新型コロナウイルス感染者又は濃厚接触者となられた方も若干ありましたが、重症化に至らず就業への多くの影響をもたらすことがなかったことは幸いでありました。

入会説明会は、1ヶ月に1度開催し、年度初めの年間開催日の予定表の全戸配布に加え、毎月の「広報あいさい」記事での開催案内も掲載し1年間で83名の方の参加(対前年比42名増)による新規入会された方もありましたが、退会者もそれ以上に増え、令和3年度末会員数は226名(対前年比21名減)となっていました。

当センターにおいては、令和3年度中に多くの発注をいただきました市当局ならびに事業所、一般家庭の皆様の深いご理解とご支援に対して、心から感謝申し上げますと共に、今後も法令を遵守し引き続き地域の皆様から信頼されるシルバー人材センターとなるよう一層努力してまいりますので、ご支援の程よろしく申し上げます。